



令和7年度 施政方針を表明

2月18日に石井市長が令和7(2025)年度の
施政方針を表明しました



施政方針の全文は
(HP) 18695351



市公式YouTubeで
動画を閲覧できます

「憩いと安住の地」を目指して 持続可能な市政運営の実現に向けた取組を

市制施行100周年に向けて

今年はいよいよ市制施行100周年の節目を迎えます。次の100年に向けて、選ばれ、住み続けていただく、そして住むことで誇りと憩いを感じていただけるまちであり続けるため、文教住宅都市宣言にある「憩いと安住の地」を目指して、全力で取り組みます。

市制施行100周年関連事業

市制施行100周年を迎えることを記念し、アミティ・ベイコムホールや周辺で記念式典や関連イベントを実施します。併せて記念誌を作成し、WEBで展開します。また、「まちなかにぎわい事業推進補助金」を創設し、市民や団体等が実施する100周年記念事業を支援することにより、100周年を祝う機運を醸成し、にぎわいの創出を図ります。

新年度 主な事業・施策

住環境・自然環境

限られた財源の中でも厳選してハード整備に取り組んでいくことで、「住みたいまち」としての高い評価を維持します。

鳴尾浜臨海公園南地区は、民間活力を導入した再整備を進めることを想定し、事業者選定に向けた作業を進めます。

阪急武庫川新駅は、引き続き、地域の皆様のご意見をお聞きするとともに、尼崎市や阪急電鉄と協力して、令和13(2031)年度末の駅開業に向けて取り組みます。

子供・教育

社会全体で子供・子育てを支えるという理念を示すとともに、子供自身の気持ちに寄り添い、育ちを支えるための機関設置を盛り込んだ「(仮称)宮っ子つながり支える条例」の制定に向けた取組を着実に進めます。

浜脇こども園を開園するとともに、新設する「幼児教育・保育センター」を中心に、公立・私立、幼稚園・保育所の枠を超えて連携・協力し、幼児教育・保育の質の向上を図ります。

家庭や学校以外に居場所が必要な子供を受け入れ、個々に応じて包括的に支援していく児童育成支援拠点事業や、養育費確保のための強制執行申立てに要する費用補助を開始し、支援が必要な家庭に対する取組について更なる充実を図ります。

子育て世帯の負担軽減を図るため、7月から乳幼児等・こども医療費助成制度を拡大し、1歳から高校生世代までの入院に係る医療費を無償化します。

中学校における部活動の愛称を「プレイにしのみや（プレみや）」とし、登録団体を増やしながら一部で地域移行を先行実施するなど、令和8年（2026年）夏に本格実施を迎えられるよう取り組みます。

福祉・健康・共生

ひきこもりや8050問題、ヤングケアラーなどの複合化・複雑化した新たな福祉課題に対応するため、重層的支援体制整備事業の本格実施や、ひきこもり地域支援センターの設置等に取り組みます。

若い世代の歯周疾患対策の重要性に鑑み、令和8年1月から新たに20歳、30歳を対象に加えて歯周疾患検診を実施します。

都市の魅力・産業

市民交流センターと大学交流センターを再編した新たな施設では、これまで培ったノウハウを生かして、地域団体やNPO、学生など多様な主体を有機的につなぐ役割を担い、地域課題の解決に向けた活動を支援します。

商工会議所、国・県などと連携し、中小企業・小規模事業者の課題解決につながる取組を支援します。またワンストップで起業を支援する「にしのみや起業家支援センター」を通じて、安定した起業家数の増加を図ります。

環境・都市基盤、安全・安心

環境学習のバージョンアップに取り組むとともに、本市の豊かな自然やそこで育まれた豊かな心、文化・伝統などを未来に引き継いでいくため、環境学習拠点の在り方について検討を進めます。

東部総合処理センター破砕選別施設が稼働開始する令和8年度に合わせ、生活系ごみの分別区分・収集回数等を見直すため、市民の皆さんに対する周知啓発を進めます。

災害時の情報取得手段の充実のため、プッシュ型で緊急情報を届ける防災アプリの開発に着手します。

政策推進

ふるさと納税は、業務全般を支援する中間事業者の導入など取組を強化し、寄附収入の増額を目指します。

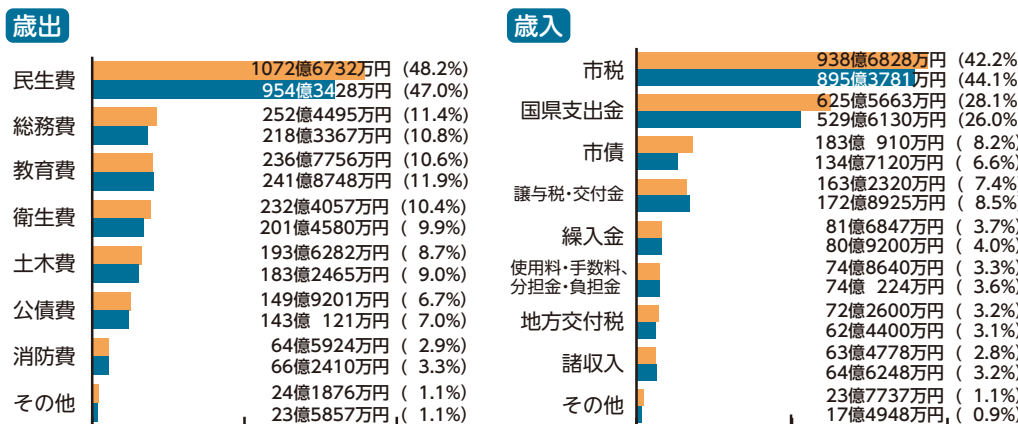
財政収支の均衡を図り、持続可能な市政運営を実現するために、「財政構造改善実施計画」で示した項目をはじめとした歳入増、歳出減の取組を積極的に進めます。計画において未定となっている項目は、内容の具体化を進めるとともに、事業のスクラップや財政指標の設定などにより、中長期的にバランスを保った財政運用を進められるよう、取り組みます。

令和7年度 一般会計予算案 総額2226億6323万円

予算案は市のホームページで公表しています
問 財政課(0798・35・3414) (HP) 53865968



令和7年度一般会計予算案の内訳



主な項目 民生費…福祉の充実に ▶ 総務費…文化振興や広報に ▶ 教育費…学校教育や社会教育の充実に
▶ 衛生費…保健医療や清掃事業に ▶ 土木費…道路や公園の維持管理等に ▶ 公債費…借金の返済に

令和7年度一般会計予算案の特徴

前年度より194億5347万円増

民生費	障害者介護給付費等の増や、児童手当の制度改正の通年化などにより、118億3304万円の増額
総務費	(仮称)越木岩センターの整備工事の進捗などにより、34億1129万円の増額
衛生費	東部総合処理センター破砕選別施設の整備工事の進捗などにより、30億9477万円の増額

令和7年度予算案の内訳

区分	予算額	前年度比
一般会計	2226億6323万円	9.6%増
特別会計	970億5078万円	2.8%増
企業会計	465億5047万円	0.4%増
合計	3662億6448万円	6.5%増

※予算案は3月定例会市議会で審議中